

## <平成20年度 瑞学園事業計画>

### 第一章 施設の概要

#### I. 設立趣意

知的に障害がある人の中には、問題行動やパニックが頻発し、本人も周囲も悩まされ続けてしまうという方がいます。特にこの傾向は、自閉症と呼ばれる人たちに顕著に見られます。これは彼らが言葉、言語の抽象概念を理解できないために起きるものです。

この言語認知障害児、者へのよりよき対応法として開発されたのがコロロ ET センターの「発達を促すプログラム（コロロメソッド）」です。コロロ ET センターは、社会福祉法人コロロ学舎の設立母体となった団体であり、現在も自閉症やダウン症などの認知障害児がコロロメソッドによる療育を受けるために日本全国から通ってきています。

このセンター設立から十数年を経て、親の高齢化を見据えた「成人のための実践機関をぜひ」という時の趨勢に応え誕生したのが瑞学園です。瑞学園の設立によって、幼児期から成人期までの言語認知障害児・者に対するトータルケアとしての実践モデルが整いました。これにより瑞学園は、「家庭では母の手」による、「施設では支援員の手」による「発達を促すプログラム（コロロメソッド）」を実践し、その意義を全国各地に発信する基点とならなくてはなりません。

そのためにまず瑞学園では、「発達を促すプログラム（コロロメソッド）」による質の高いケアを保障し、心豊かに、地域の中で共生できる開かれた施設を目指します。利用者が一人の人間として、個々の持つ能力や可能性を発揮しながら社会人として生活できる場を提供し、有意義な生きがいのある人生を過ごすことができるようにと考えています。そのために「どのように暮らすか（生活について）」「どのように働くか（日中活動について）」「どのように楽しむか（余暇活動について）」「どのように健康を保つか（医療について）」という四つの視点から支援を考えます。日々の生活、活動では、頭と体を十分に使ったプログラムを組み、規則正しく意欲的な生活が送れるように援助します。そして「自分のことはできるだけ自分でできる自立した生活を楽しめる」ように支援します。

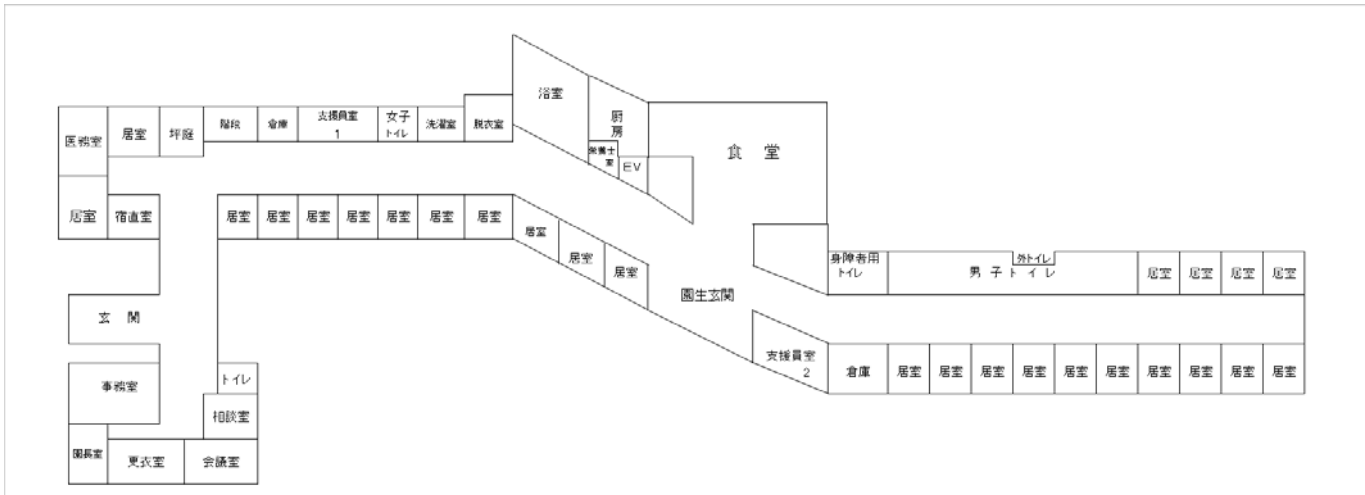
“よく働きます よく学びます よく楽しみます 輪になります”をモットーに！

#### II. 施設の概要

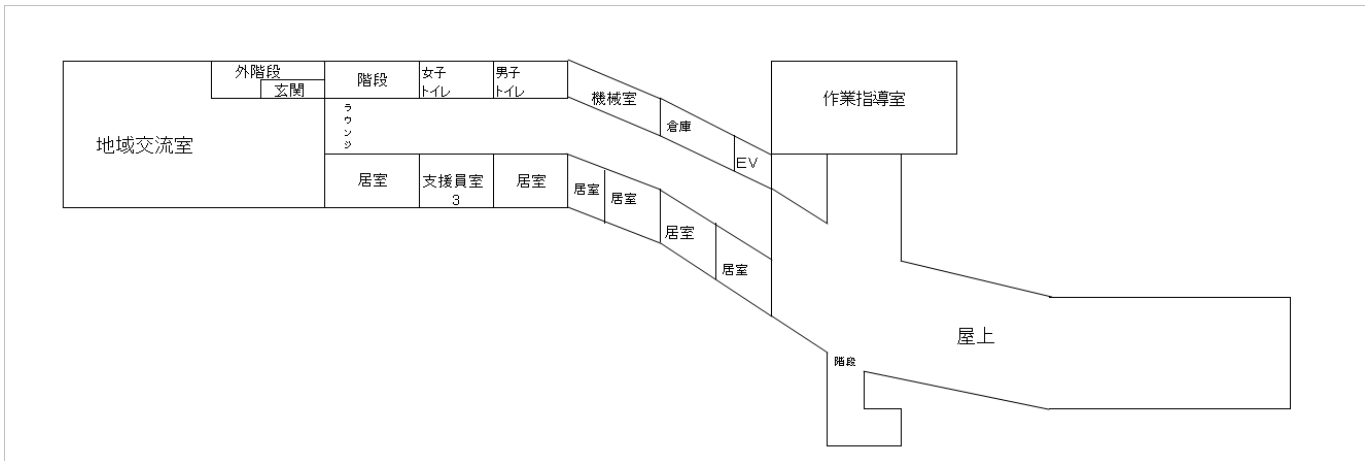
1. 設立主体 社会福祉法人コロロ学舎
2. 種別 知的障害者援護施設（入所更生）
3. 入所定員 60名（他、緊急一時保護を8名併設）
4. 規模
  - ① 構造 鉄筋コンクリート2階建て
  - ② 敷地面積 4,761㎡（約1,500坪）
  - ③ 建物面積 1,866㎡（約600坪）
5. 理事長 石井 聖
6. 施設長 杉浦 章一
7. 職員 生活支援員、看護師、栄養士、事務員、嘱託医

## 8. 平面図

### ① 1階



### ② 2階



## 第二章 支援計画

### I. 支援方針

#### 1. 年間支援方針

今年度は、年間の支援目標を「コロロメソッドの基本の実践」とし取り組んでいく。コロロメソッドは、集団の中で、個の力を最大限に引き出していく療育法である。この療育法を実践することにより、設立趣意にもあるように、利用者に質の高いケアを保障することができてきた。しかし、ここ2、3年少しずつ「集団の活用」という療育の基本が忘れられてきていると感じる。

今年度は10年目という区切りの年にも成るにあたり、もう一度、療育の基本に立ち返るといところから始めていきたい。そのことが、今後の利用者さんの更なる生活の向上につながるものであると確信している。上記のコロロメソッドの観点から、今年度の個別支援計画の達成度により、年間支援目標の評価を行っていきたい。

療育は「科学であり、技術であり、生活文化である」ということを再度念頭に置き、今年1年取り組んでいく。

#### 2. 職員役割分担計画

係	内容
ビューティ	備品管理、環境整備、美化など
靴	靴の在庫の把握、状態確認、購入など
帰省	帰省ファイルの作成・管理 帰省者の把握 連絡表の割り振りなど
衣類	衣類の購入、管理、在庫の把握 衣替え計画の作成、実施など
見学・ボランティア・実習	見学・相談業務の調整窓口、対応者の割り振り ボランティア、実習生の受け入れ窓口 オリエンテーション、活動計画作成
ショートステイ	ショートステイ業務に関する調整窓口、利用者の状況把握、報告書作成責任者
保健・美化・衛生	利用者の健康管理、学苑内の環境整備、衛生状態の管理
学習	学習年間計画の立案 学習の実施状況の把握 学習ファイルの管理など
畑管理	畑作業年間計画の立案、備品管理、購入責任者、畑作業実施状況の把握など
家族会	家族会との連絡、調整
地域・業力会	地域交流行事への参加調整、担当者の割り振り、業力会との連絡調整
防災	防災訓練の年間計画の作成、消防署への連絡、防災設備の点検管理など
書類	関係書類の準備、保管、改定など
消耗品購入	在庫管理、購入責任者
誕生日	年間の誕生日プレゼントの購入、作成
イベント・クラブ	年間計画の作成、実施状況の把握、担当者の割り振り
リネン	業者との連絡、調整 シーツ、布団の在庫把握 など
研修・研究	年間計画の作成、研修報告書の管理、日程の調整・周知、参加者状況の把握
勤務表	勤務表の作成
ローテーション表	ローテーション表の作成

## II. 生活支援計画

今年度は「コロロメソッドの基本に立ち返る」「コロロメソッドを実践し続ける」という目標のもと、集団を意識した生活を基本とし、その中で個々へのアプローチを行い、生活能力の向上、コミュニケーション能力の向上を目指していく。

### 1. 生活支援方針・組編成の目的

- ・生活能力の支援では、個別支援計画を元に毎月個々の生活目標を設定し、目標に応じた支援を行う。一ヶ月ごとに評価、見直しをし、翌月の目標を設定する。
- ・上司のスーパーバイズを受け療育技術の向上を図り、利用者の状況に応じて目標を臨機応変に変更する。
- ・各グループが「目標に向かって結成されたチーム」という意味から「組」という名称で結成される。
- ・3組体制にて編成され、各組共に組目標を掲げ目標達成に向けて集中した活動を行っていく。
- ・本人の能力・状態に合わせて活動グループを適宜変えていき、本人の能力を十分に引き出す事ができるようプログラムを組んで進めていく。
- ・状況（利用者及び支援員）に応じて柔軟に編成を見直す。
- ・地域移行を視野に入れ、自立に必要な能力を高める事ができるよう支援していく。

### 2. 利用者日課

利用者が施設を出て地域社会に適応していく事ができるよう、学園での生活スケジュールはほぼ社会の活動に沿うように作られている。地域社会での生活を目標として、社会的にも身体的にも自立を目指して、規則正しく落ち着いた生活を営むことができるように支援していきたい。また、利用者の高齢化に伴い、個々に合わせて支援内容を適宜変えていく必要がある。

同じ生活パターンのマンネリ化により、強いこだわりパターンが形成されてしまわないよう、活動場所・内容・対応にあたる支援員を適宜変えていく。そうして望ましい条件反射の積み重ねにより、適応行動・受身行動を向上させていく。

### 3. 週間予定

生活に変化を与え、個人個人の能力や趣味なども重々考慮した上で計画を立てる事により、健康で意欲的な生活を送る事ができるように利用者をサポートしていく。(余暇活動に利用者の趣味を盛り込めるように毎年のケース会議、毎月の組会議にて情報収集を行ない、余暇活動や自由時間の計画を立てる。) また、地域生活を視野に入れ個人の能力を高めることができるよう支援していく。

余暇活動については、「クラブ活動の充実」を目標として青桃祭などご家族や地域の方々に発表できる場を設けることにより、利用者が活躍できる場面が増えるよう取り組んでいく。

## III. 作業支援計画

### 1. 作業支援方針

平成20年度もコロロの基本プログラムである「コロロメソッド」を基本に作業を行っていく。コロロメソッドの最大の特徴は「集団」を活用することで、集団の中で利用者個人の作業能力・技術・社会性の向上を目指す。以下にあげる支援目標を設定し実践していく。

- ① どの作業においても核となる集団を形成し、活用する。
- ② 視覚的にわかりやすい(見通しが持てる)作業の環境を作り、取り組みやすい環境を整える。
- ③ 力をコントロールして、目的的に手と目を使っているか常に確認する。
- ④ 個別支援計画をもとに個々の作業目標を設定し、目標の達成度、支援プログラムの方向性が合っているかを毎月検討する。
- ⑤ 個々の作業能力が向上するよう作業内容、道具、材料などを創意工夫し、作業に取り組める体制を整える。
- ⑥ 様々な作業に取り組む適度にパターン崩しを行い、パターン化(マンネリ化)しないようにする。

毎日の活動の中に、歩行トレーニング、行動トレーニング、ダイナミックリズムを組み込み、反射の抑制、適応力の向上、耐性力の向上を目指す。また、「学習」プログラムにも取り組み、概念力の向上も共に目指す。学習は月ごとに各組から選抜して個別学習を行い、概念力の向上を目指す。

## 2. 作業編成

基本的には4組編成とし、どの組も集団(約20名で構成する)を形成し、活用していく。利用者個々の能力に合わせて編成を行う。

さらに活動の中で、作業組とは別に随時、**DR**(ダイナミックリズム)グループを設け、園生・職員とも参加作業の固定化を防ぎ、各作業組から流動的に参加できるようにする。結果として、自閉症者特有のこだわりと固着の改善、職員の集団療育技術の向上を目指す。

### ①作業A

畑作業を主に行う。野菜を中心とした作物を育て、収穫し、学園内の無料販売所にて販売を行う。また、ハーブの自主製品(ハーブティーなど)の販売も行う。冬場には「街クリーン隊」を形成し、歩行トレーニング中に空き缶などのゴミを拾い街の美化に努める。街の美化に努めることで地域社会とのつながりを目指す。

### ②作業B

洗濯作業を主に行う。洗濯した洋服を干す・取り込む・たたむ・タンスへしまうといった一連の作業や、布団のシーツを交換するなどの日常生活に必要な身の回りのことを身に付け、地域への自立した生活を目指す。また、アイロンがけや服を繕うなどの細かな手作業を組み込んで、身辺自立能力の向上を目指す。

### ③作業C

地元企業から請け負っているパネルボード(のりパネ)の袋詰め作業と、箱折り作業を主に行う。また、パネルボードと箱折り作業は週に3回、企業に納品を行う。

地域社会とのつながり、仕事の重大さを知り、社会性の向上を目指す。また、「不良品0」を目指し、企業との信頼関係を築く。

### ④作業D

清掃・学習を主に行う。園内美化に取り組み、ほうき、雑巾がけ、掃除機など日常生活に必要な清掃道具の使い方を覚え、自立した生活動作の技術向上を目指す。また、地域の清掃活動などにも積極的に参加し、地域社会に貢献することを目指す。

### ⑤作業E

ダイナミックリズムを通して、作業能力・生活力の基礎を培う。

### 3. 作業年間計画

#### ①作業A（畑作業・DR・街クリーン隊）

	作業内容	支援目標、留意点
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑の耕し</li> <li>・畝作り、施肥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クワ、スコップを正しく使う</li> <li>・クワ、スコップの使い方のパターンニング</li> <li>・耕す場所を視覚的に分かりやすくする</li> <li>・様々な畑道具を使い力のコントロール力を身に付ける</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種蒔き</li> <li>・苗植え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定した場所に種や苗を植える</li> <li>・種や苗を植える場所を視覚的にわかりやすくする</li> <li>・持続して種や苗を植えるようにする</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草取り、水蒔き</li> <li>・施肥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗と雑草を区別して雑草だけを取る</li> <li>・ジョーロを使って適量に水をまく</li> <li>・適量の肥料を適当な場所にまく</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、袋詰め</li> <li>・雑草取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハサミ、カゴを正しく使い作物を収穫できる</li> <li>・収穫物を袋に詰める（職員の促しあり）</li> <li>・収穫した野菜を無人販売所にて販売する</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、袋詰め</li> <li>・雑草取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物を傷めずに、収穫する</li> <li>・収穫物を丁寧に袋詰めする</li> <li>・収穫した野菜を無人販売所にて販売する</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕し、畝作り</li> <li>・種蒔き</li> <li>・ハーブ製品作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕し作業のできる人を増やす</li> <li>・クワ、スコップを使い作業の持続力を伸ばす</li> <li>・ハーブ製品作りの作業工程を覚える</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、袋詰め</li> <li>・ハーブ製品作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫物の袋詰めをできる人を増やす</li> <li>・一人で適当な場所に種をまく</li> <li>・青桃祭、無人販売所にて野菜を販売する</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫、袋詰め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物を収穫し、袋詰めを効率良く行なう</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐葉土作り</li> <li>・街クリーン隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クワ、スコップを使って土を耕す</li> <li>・歩行中に静止をして、ゴミを拾う</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐葉土作り</li> <li>・街クリーン隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クワ、スコップを使って土を耕し、雑草を取る</li> <li>・歩行中にゴミを拾って、カゴに入れる</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土作り</li> <li>・街クリーン隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕し作業の効率アップを目指し、広範囲に渡って耕す</li> <li>・ゴミを分別してカゴに入れられるようにする</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕し、畝作り</li> <li>・街クリーン隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕し作業をより効率的に、正確に行なうようにする</li> <li>・ゴミ拾い場所の範囲を広げ、地域の方に挨拶がしっかりできるようにする</li> </ul>

②作業B（洗濯作業・DR）

	作業内容	支援目標、留意点
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドタオルを両端をそろえて綺麗にたたむ</li> <li>靴下、ボディタオルをハンガーに干す</li> <li>ズボンを綺麗にたたむ</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tシャツ、トレーナーを肩に合わせて綺麗にたたむ</li> <li>職員の促しのもと洋服タンスに洋服をしまう</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洋服、ズボンのしわを伸ばして干す</li> <li>一人で洋服タンスに洋服をしまう</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洋服、ズボンのしわを伸ばして干し、取り込む</li> <li>職員の促しのもと洗濯機を操作する</li> <li>職員の促しのもと翌日の洋服を準備する</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で洗濯機を操作して洗濯する</li> <li>一人で洋服タンスから洋服を出し、準備する</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴下の左右を合わせて（マッチング）たたむ</li> <li>職員の促しのもと乾燥機を操作する</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の促しのもと洗濯物を種類別に分ける</li> <li>一人で乾燥機を操作する</li> <li>タンスの衣替えを自分で行う</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で洗濯物を種類別に区別してたたむ</li> <li>職員の促しのもと破れた服を繕う（針と糸を使う）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の促しのもと決められた場所のタンスに洋服をしまう</li> <li>職員の促しのもと洋服、ズボンにアイロンをかける</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人決められた場所のタンスに綺麗に洋服をしまう</li> <li>様々な洗濯物にアイロンをかけることができる</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の促しのもと一連の洗濯作業工程を行う</li> <li>一人でアイロン、服の繕いなどを全て行う</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯</li> <li>仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で一連の洗濯作業工程を行う</li> </ul>

③作業C（パネルボード・箱折り作業・DR）

	作業内容	支援目標、留意点
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袋入れ、チラシ入れ、セロテープ貼り、シール貼りの作業の持続力をあげる</li> <li>・箱折り作業の工程のパターニング</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助具を使ってシール貼りできる人を増やす</li> <li>・箱折り作業が持続して取り組めるようにする</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で正確にシール貼りができる人を増やす</li> <li>・箱折り作業が丁寧に確実にできるようにする</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小サイズのパネルの袋入れができる人を増やす</li> <li>・型抜きができる人を増やす</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小サイズのパネルの袋入れを丁寧に破かずにできる人を増やす</li> <li>・一人で型抜きができる人を増やす</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> <li>・自主製品作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大サイズのパネルの袋入れができる人を増やす</li> <li>・完成品を数えて袋に入れるようにできる人を増やす</li> <li>・青桃祭に向けてデコパージュ作成の工程を覚える</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> <li>・自主製品作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小サイズのパネルのセロテープ貼りができる人を増やす</li> <li>・完成品を数えて正確に袋に入れる作業ができる人を増やす</li> <li>・青桃祭に向けデコパージュ作成ができる人を増やす</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大サイズのパネルのセロテープ貼りができる人を増やす</li> <li>・一人で完成品を数えて正確に袋に入れる作業ができる人を増やす</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大サイズのパネルのセロテープ貼りができる人を増やし、全工程できる人を増やす</li> <li>・納品ができる人を増やす</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シール、セロテープ、袋など無駄が出ないように作業を行う</li> <li>・パネル、箱折り作業共に不良品0を目指す</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業時間内に決められたノルマを確実に行う</li> <li>・パネル、箱折り作業共に不良品0を目指す</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル作業</li> <li>・箱折り作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業時間内に決められたノルマを確実に、正確に行える人を増やす</li> <li>・不良品0を目指し、地元企業との信頼関係を高める</li> </ul>

④作業D（清掃・学習・DR）

	作業内容	支援目標、留意点
4月	・清掃 ・学習	・ほうき、ちりとりを正しく使ってゴミを集める ・正しい姿勢で雑巾掛けをする ・個別学習（作業Aから数名選抜）
5月	・清掃 ・学習	・ブラシ、たわしを正しく使って便器、洗面所を磨く ・個別学習（作業Bから数名選抜）
6月	・清掃 ・学習	・デッキブラシを正しく使い風呂場の掃除を行う ・個別学習（作業Cから数名選抜）
7月	・清掃 ・学習	・部屋の隅々まで掃除機掛け、雑巾掛けを行う ・個別学習（作業Aから数名選抜）
8月	・清掃 ・学習	・洗剤を使用して指示された場所を綺麗に磨く ・個別学習（作業Bから数名選抜）
9月	・清掃 ・学習	・一人で汚れた部分を洗剤を使って綺麗に磨く ・個別学習（作業Cから数名選抜）
10月	・清掃 ・学習	・ホースを使い洗剤を綺麗に洗い流す ・個別学習（作業Aから数名選抜）
11月	・清掃 ・学習	・職員の促しのもと一連の清掃作業の工程を行う ・個別学習（作業Bから数名選抜）
12月	・清掃 ・学習	・一連の清掃作業の工程を一人で行う ・個別学習（作業Cから数名選抜）
1月	・清掃 ・学習	・職員の促しのもと園内の清掃を一人で行う ・個別学習（作業Aから数名選抜）
2月	・清掃 ・学習	・一人で園内の清掃を行う ・個別学習（作業Bから数名選抜）
3月	・清掃 （地域活動） ・学習	・地域の清掃活動に参加する ・個別学習（作業Cから数名選抜） ・全体学習（全ての組合同で）

⑤作業E（DR）

	内容	支援目標、留意点
通年 随時	ダイナミックリズム ・リズム ・集会	・行動リズムの調整力、集団適応力、着席注視力、集中持続力、ユアペース力等々を育成する ・集団ダイナミクスを活用して、こだわり、固着等の問題行動を改善する ・良いパターンを形成し、そのパターンをまた崩すことにより、より適応力を高める

#### IV. 余暇支援計画

瑞学園では、季節や時期に応じてイベントを盛り込む事により生活のアクセントとなり、充実した学園生活を送る事ができるよう、様々な行事を行っている。これらの行事をレクリエーション（お楽しみ）としてだけでなく、個々の能力の向上を目指す為のトレーニングとしても位置付けている。また、家族の方々、地域との交流の場としても重要な役割を担っている。様々な人と共に楽しむ場を提供できるように援助する。

##### ①お楽しみ行事

- ・ 生活に変化を与え、生活をより豊かなものにする。
- ・ 集団で楽しむ事ができる。
- ・ 新しい楽しみを見つける場をつくる。
- ・ 日々の練習（トレーニング）の成果を試す場とする。
- ・ 交流行事では、家族の方に練習（トレーニング）の成果を披露する機会をつくる。
- ・ ご家族、地域の方との交流・親睦を深める。

##### お楽しみ行事 内容・予算

テーマ	目的	内容	予算	備考
☆ 納涼祭 (7月)	ビアガーデンや花火大会などを行い、ご家族と共に季節感を味わう。	テラスにてビアガーデン 模擬店 花火大会	260,000	食事代 模擬店道具レンタル代 花火代
旅行会 (9月)	その時、その場所でしか味わうことのできない経験をする。	グアム旅行3泊4日 観光・海水浴	¥14,670,000	園生60名参加 職員25名引率
☆ 青桃祭 (10月)	毎日の学園での活動を家族や地域の人達に向けて発表する。	クラブ活動発表をメインとした活動報告、バザー、模擬店、アトラクション発表など	¥750,000	活動発表 舞台設置 アトラクション招待
☆ 忘年会 (12月)	園生全員が出し物に参加して協力し合うことで絆を深める。	ホテルなどの会場を借りての忘年會を企画	¥1,000,000	園外にて実施
☆ チャリティーコンサート (2月)	コンサートを静かに鑑賞する。園生自身も舞台に立ち、コンサートを盛り上げる。	コンサート鑑賞・出演	¥200,000	
季節行事 (4回)	季節感・季節の風物詩を味わう。	①お花見会 ②新年会 ③節分 ④ひな祭り	①¥20,000 ②¥20,000 ③¥10,000 ④¥30,000	

☆は家族交流行事

合計 ¥16,960,000

②元気モリモリ行事

- ・ 持久力、集中力、耐性を伸ばし、適応力を高める体力作り、健康増進を目指す。
- ・ 力を出し切るにより、達成感、充実感を知る。
- ・ 日々の練習（トレーニング）の成果を試す場とする。
- ・ 生活に変化を与え、生活をより豊かなものにする。
- ・ （家族にご出席いただく行事では）家族に練習の成果を披露する機会をつくる。
- ・ 家族との交流を深める。

元気モリモリ行事 内容・予算

行事名	目的	内容	予算	備考
☆瑞そうせい 合同運動会 (5月)	闘争心を燃やし、競い合い競技を楽しむ。	各競技、アトラクションに参加 会場を自分達で設営	¥500,000	機材レンタル代は瑞・そうせいで按分
登山・ハイキング (4回)	自然に親しみ、健康で健やかな身体を養う。	① 奥多摩森林コース ② 甘利山・千頭星山コース ③ 編笠山コース	① ¥30,000 ② ¥75,000 ③ ¥375,000	③ 宿泊費込み
瑞そうせい合同DR (4回)	園生全員で同時に集団行動をとる事で、個々の能力を高めるとともに、連帯感を培う。	広い体育館を使用してのダイナミックリズム	¥20,000	教材費
DRハイク	厳しい状況を経験する事での自己鍛錬。	am DR pm ハイキング	¥50,000	交通費等
避難訓練 (4回)	災害に備えて安全かつ迅速に避難できるようにする。	いろいろな日常場面で災害が起った時を想定した訓練を行う	¥0	
マラソン大会参加 (1月・3月)	持続力、集中力、耐性を伸ばす。	・ フリーバーズカップランニング大会 (横浜市) ・ 東社協主催ふれあい福祉マラソン(皇居周辺)	¥120,000	参加費 交通費 食事代

☆は家族交流行事

合計 ¥1,170,000

### ③ 地域交流行事

#### 目的

- ・ 地域の方々との交流、親睦を深める。
- ・ 地域の活動に貢献する。
- ・ 地域、一般の方々ともスムーズに活動を共にできることにより、安定した利用者状態を促す機会とする。

#### 地域交流行事の内容・予算

行事名	種別	目的	予算	備考
町内一斉清掃（6月）	①町内会行事	栗原町の方々との交流を深める。	¥0	
栗原町内会納涼祭（8月）				
防災訓練（9月）				
元狭山神社節分（2月）				
狭山丘陵ウォーキング（4月）	②瑞穂町行事	地域の方々に学園の活動を知ってもらうと共に交流も深める。	¥20,000	産業まつり出店
福祉運動会（6月）				
産業まつり（11月）			¥10,000	
出初式（1月）				
福祉ふれあいまつり（11月）	③瑞穂町社会福祉協議会等地域の団体行事	自主製品の販売を通して、学園の活動を多くの方々に知ってもらう。	¥10,000	福祉ふれあいまつり出店
カラオケ大会（12月及び随時）			¥3,000	

合計 ¥43,000

### ④ オプション行事

#### オプション行事の内容と参加者一人分の予算

行事名	目的	内容	予算 (1人分)	備考
芸術鑑賞	ミュージカルや映画などを鑑賞し芸術作品と触れ合う。	ミュージカル・映画・サーカス等鑑賞	¥8,000	チケット代 食事代等
日帰り温泉	公共施設でマナーよく楽しむ。 日々の疲れを癒す。	公共施設の利用 入浴	¥5,000	入浴料 食事代等
果物狩り	季節の果物（苺・ぶどう等）を味わう。	果物狩り	¥4,000	入場料 食事代等
遊園地	公共の施設でマナー良く楽しむ。 日々の生活の糧とする。	乗り物に乗る 売店などでの買い物	¥5,000	チケット代 食事代等
水遊び	プール・川・海で暑さを忘れ、水と親しむ。	水遊び	¥4,000	入場料 食事代等
水族館	水中生物の鑑賞・ふれあいを通して、感受性を高める。	水中生物鑑賞 水中生物とのふれあい	¥4,000	入館料 食事代等

※オプション行事の参加費は参加を希望する園生の自己負担

⑤ クラブ活動計画

園生の希望、個々の趣味、趣向に合わせたものを選択し、月2回程度開催し、楽しみながら活動できるようにする。

クラブ活動	目的	内容	予算	備考
マラソンクラブ	正しい走り方の獲得。競争心、持続力、持久力の強化。	フリーバーズカップ、福祉マラソン参加。	¥120,000	参加費 交通費
クッキングクラブ	自らの手で作った料理を食べる喜びや楽しさを味わう。	青桃祭にて、カフェとして出店する。	¥120,000	材料費
茶道クラブ	和のたしなみを身に着ける。	発表の機会に向けての練習、青桃祭にて発表。	¥120,000	お茶 和菓子代
手芸クラブ	余暇時間の充実。種々の手作業を獲得する。	手芸作品を作成し随時展示する。	¥120,000	手芸材料 資料代
音楽クラブ	正しい発声方法の獲得。楽器の扱い方の習得。	発表の機会に向けての練習、青桃祭にて発表。	¥120,000	楽譜代
合計			¥600,000	

⑥年間行事予定

平成20年度 年間行事予定一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大行事		合同運動会		納涼祭		旅行会	青桃祭		忘年会			チャリティーコンサート
季節行事										新年会	節分	雛祭 お花見
元気モリモリ行事		合同DR	登山	登山合宿 合同DR		DRハイク	登山			合同DR フリーバースマラソン		福祉マラソン 合同DR
その他の行事			避難訓練 健康診断			避難訓練		避難訓練 健康診断 予防接種			避難訓練	センター卒業式参列
地域交流行事			福祉運動会 町内一斉清掃		栗原町納涼祭	瑞穂町防災訓練		産業まつり ふれあい祭り	カラオケ大会	出初式	元狭山神社節分祭	
オプション行事		遊園地	水族館		水遊び	果物狩り	芸術鑑賞		芸術鑑賞		温泉	

## V. 個別支援計画

### 1. 個別支援計画の視点

コロロの「発達を促すプログラム(コロロメソッド)」の評価基準をもとに、個々の状態像の把握、評価、目標設定を行っています。入所更生施設であるからこそ最終的には社会適応を目指しており、「いつでも・どこでも・だれとでも」という理念を掲げ「地域」「家庭」にてより生きやすくなるような適応性を身につけるための支援計画が必要となります。

瑞学園でもより個別化した支援プログラムの明記(面接、契約)を行っており、平成20年度も、「個別支援計画」を作成し、個人の希望をふまえた支援(療育)方針を設定します。この方針に関しては、家族または支援者にも説明を行います。

瑞学園の療育の視点を踏まえて、「個別支援計画」の作成にあたっては、「フェイスシート」「アセスメントシート」の作成(三年に一度見直し)を行います。また、その計画の評価(モニタリング)に関しては年度末に行い、次年度に向けた「個別支援計画」を作成します。

### 2. 個別支援計画の流れ

#### ※ 「フェイスシート」

個人の基本情報、健康状況、家族構成、生育暦、服薬情報を記載します。

#### ※ 「アセスメントシート」

個人の希望、家族の意見等を記載し支援の方向性を分りやすくします。

「コミュニケーションの状況」「家族、家庭での状況」「できること、得意なこと」「苦手なこと」「問題行動」「安全管理事故防止上の留意点」などの項目について支援員が調査し、記載します。

#### ※ 「評価(モニタリング)」

年度末(1月、2月)に個別支援計画の評価を行います。評価は、「利用者本人の能力について」と「支援の方向性はあっていたか」の2点について、各項目ごとに評価します。評価にあたっては、支援の方向性を決め、次年度の「個別支援計画」の作成につなげます。このモニタリングが次年度の個別支援計画を生きたものとしていくためとても重要視しています。

#### ※ 「個別支援計画」

「フェイスシート」「アセスメントシート」をもとにケース会議を開催し、個別支援計画を作成します。

個別支援計画は「本人の能力向上のために」「作業能力の向上のために」「社会資源の活用のために」「安全管理・事故防止上の留意点」の4項目についてまとめ記載します。個々の能力、状況に応じて地域生活移行も視野に入れて記載します。

# フェイスシート

記入年月日

年 月 日

## 1. 基本情報

氏名	性別 男 ・ 女
生年月日	年 月 日生
住所 〒	TEL
	FAX

家族構成	本人 男性 女性	緊急時連絡先 氏名 ( ) 本人との関係 ( ) 住所 〒 TEL
家庭状況(主に関わっている人など)		

成年後見人制度の利用類型 ( 後見 ・ 保佐 ・ 補助 ・ なし )	
氏名 ( )	TEL
住所	
障害基礎年金 ( 級 )	金額 円 / 月
健康保険の種類	・ 国保 ・ 政管保険 ・ 組合保険 ・ その他
愛の手帳 ( 手帳 )	度 ( ) 番号
交付年月日	年 月 日
その他の障害手帳 ( 手帳 )	級 ( ) 番号
交付年月日	年 月 日
障害程度区分	・ A ・ B ・ C
受給者証交付年月日	年 月 日

行政機関	TEL
・ 身長	c m ・ 体重
	k g ・ 体温 度
・ 血圧 /	・ 血液型 年 月 日現在
健康状態	年 月 日現在



園長	部長	課長	課長	係長

# アセスメントシート

記入年月日

年

月

日

氏名

## 1. 本人の想い、意思の確認

## 2. 家族の意見

## 3. コミュニケーションの状況

意思表示の状況(意思表示の手段、本人の意思をどの程度伝えられるか)

他者からの意思伝達の理解の状況

その他、意思伝達手段など

現在の状況

## 4. 家族との関係

現在の状況

支援をしていく上での課題



## 瑞学園 モニタリング(評価・検討)シート 1

支援を計画にそって進めることができたか、適切、有効であったか、見直す必要があるか  
新たに必要とされる支援は何であるか、実現可能な目標であるか

		提出日	
平成19年度 モニタリング会議		記録者	
利用者氏名		会議開催日時	平成19年月日( ) 時 分～ 時 分
議長	会議出席者		

【本人】 ・ A 良好に変容した ・ B 変わっていない ・ C 低迷している  
【支援】 ・ + 合っていた ・ ± 十分な支援に及ばなかった ・ - 支援の方向性が合っていなかった

個別支援計画に関する評価		評価内容	
「本人の能力向上のために」に関する評価		本人評価	支援評価
計 画		【本人      】	【支援      】
		【本人      】	【支援      】
		【本人      】	【支援      】
評価の理由			
「生活能力向上のために」に関する評価		本人評価	支援評価
計 画		【本人      】	【支援      】
		【本人      】	【支援      】
		【本人      】	【支援      】
評価の理由			
「社会資源の活用・創出のために」に関する評価		本人評価	支援評価
計 画		【本人      】	【支援      】
		【本人      】	【支援      】
		【本人      】	【支援      】
評価の理由			
具体的な評価		今後の課題・目的 (本人の立場から)	支援の方向性 (具体的な対応策)
作業能力について 作業能力の向上の観点			
どんな作業に取り組むことができたか			
持続力・集中力・正確性はどうかだったか			
新しい課題にチャレンジできたか			
概念学習について コミュニケーション能力の向上の観点			
現在の学習状況・取り組んでいる課題			
進捗状況(ステップアップしているか)			
特記			
身辺自立について 生活能力の向上の観点			
本人の身辺自立はどうか			
整容、身だしなみに対する意識はどうか			
特記			
コミュニケーション能力について コミュニケーション能力の向上の観点			
コミュニケーション能力の向上はどうかであったか			
受身行動が取れているか			
指示行動が取れているか			
集団、指差し、プロンプト、言葉かけなど有効な手段は何か			

園長	部長	課長	課長	第1係長	第2係長	第3係長		

## 瑞学園 モニタリング(評価・検討)シート2

支援を計画にそって進めることができたか、適切、有効であったか、見直す必要があるか  
新たに必要とされる支援は何であるか、実現可能な目標であるか

利用者氏名		記録者	
具体的な評価		今後の課題・目的 (本人の立場から)	支援の方向性 (具体的な対応策)
できること・得意なことについて			
どんなことに取り組むことができたか			
新たな発見はあったか			
特記すべき事項はあるか			
苦手なこと・不安なことについて			
チャレンジできたことはあったか			
新たな発見はあったか			
特記すべき事項はあるか			
健康について			
健康に過ごすことができたか			
活動の中で留意すべき事項があったか			
特記すべき事項はあるか			
行動課題について			
最も優先すべき課題は何であったか			
どのような手立てが有効であったか			
行事・クラブ活動への参加はどうだったか			
どんなクラブ・行事に参加したか			
楽しめていたか			
特記すべき事項はあるか			
安全管理事故防止上の留意点について		今後の支援における留意点	
事故はなかったか			
ヒヤリハットすることはあったか			
対策は必要か			
家庭、家族との関係について			
家庭での様子はどうかであったか			
家族からの要望、苦情はあったか			
特記			

## さんの個別支援計画書

### 平成21年度の支援目標

#### 支援上の達成課題(達成目

1. 本人の能力向上のために
  
2. 生活能力の向上のために
  
3. 社会資源の活用・創出のために

#### 安全管理・事故防止上の留意点

備考

ケース会議開催日 : 平成20年 月 日( ) : ~ :

参加者 :

以上の個別支援計画について、担当者より説明を受け同意しました。

平成 年 月 日( )

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

立会人氏名 \_\_\_\_\_ 印

### 3. 記録と保存

利用者の現在の状況を把握し、健康で豊かな生活を送るために、また生活、作業を通してより効果的なトレーニングを進めるためにも客観的な記録を残しておくことは非常に重要な意味があります。

現在、瑞学園では2種類の日誌(生活、作業)と宿直者が夜間帯の様子を記録する宿直日誌があります。また月間の生活、作業目標を記載し、その状況を個別に記録するケース記録と言語概念学習の記録を残す学習の記録があります。

#### (1)作業支援日誌

A～D組それぞれで記録する。その日利用者がどの作業を行ったのかが分かるように活動プログラムとその際の利用者とスタッフの配置を記入する。配置を記入することは限られた数のスタッフで作業が円滑に流れ、かつトレーニング効果を上げるためにスタッフが全体把握の目を養うためにも意味がある。

#### (2)生活支援日誌

1～3組それぞれで記入する。健康面(体調や排泄、睡眠、食事など)の客観的な記録と支援に関する記録を記入する。

支援に関する記録は、良い反応と望ましくない反応それぞれについて記録することとし、刺激(S)、反応(R)で記載し支援方法に統一の見解がもてるようになっている。利用者の状態とともに、それに対しどう対応したかとその対応の結果を記入する。その記録を基に次回より良い対応が出来るように記録されていることが望ましい。

#### (3)宿直日誌

夜間帯の記録を毎日記録していく。余暇活動を含めた入浴時記録と睡眠時の様子を主に記録していく。余暇の記録はゆとりの時間としても余暇活動の時間をより豊かにするために必要なものである。宿直日誌は、これを読むことで翌日の勤務者が業務の留意点を把握することができ、スムーズに業務を開始できるような形で記録する。

#### (4)ケース記録

毎月一回、目標を設定し、それに関することを中心に記録していく。個別支援計画で立てた目標が段階を追って達成されるよう月々の課題(目標)を設定し、取り組み、成果の記録をつける。

家族の方に瑞学園の様子を生き生きと伝えていくためにも、利用者の状態や様子を正確に残すようにしていく。

#### (5)学習の記録

その日の学習の記録を客観的に、かつ次回の学習の指針となるような形で記録していく。学習そのものの記録はもちろんのこと、その時の利用者の状態や反省点なども残し、総括的に利用者の様子が浮かび上がるような形で記録する。

これらの記録は、記録のしやすさ見易さを考慮に入れ、常により良いあり方が検討されるべきものである。また、法則性のある形で整理と保存がなされなければならない。

# A 班 作 業 支 援 日 誌

2008 / 04 / 01

園長	部長	課長	課長	係長

平成 年 月 日( ) 天候

スタッフ 八 日八 日 才

プログラム 氏名 AM PM 特記事項

AM ( ) 配置図	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
結果・反省・引継ぎ	9				
	10				
	11				
	12				
PM ( ) 配置図	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
結果・反省・引継ぎ	21	SS			
	22	SS			
	23	SS			
	24	SS			

# 1 組 生 活 支 援 日 誌

		園 長	部 長	課 長	課 長	係 長
平成	年	月	日( )	天候		
在籍	組	名				
( S S	名)					
外泊者	( 名)					
本日帰省者( 名)	AM( ~ 12:00)		PM(12:00 ~ )			
本日帰園者( 名)	AM( ~ 12:00)		PM(12:00 ~ )			
スタッフ名	ハ	日ハ	日	オ		
支 援 内 容	行事					
	余暇・内容・クラブ活動 : 楽しみ度・エピソード等 ( S R )					
	動 ( )					
	健康面 (通院・怪我・体調・睡眠・排泄・食事)					
処遇 ( S 刺激 < 原因 > R 反応 < 結果 > )						
良い反応						
望ましくない反応						
分析・反省・打合せ・特記事項・その他						

# 平成 2 0 年 度                      月                      ケース記録

\_\_\_\_\_ さん

生活重点目標  <div style="text-align: right;">(       )</div>	作業重点目標  <div style="text-align: right;">(       )</div>
方法  <div style="text-align: right;">(       )</div>	方法  <div style="text-align: right;">(       )</div>
結果  <div style="text-align: right;">(       )</div>	結果  <div style="text-align: right;">(       )</div>
今後の課題  <div style="text-align: right;">(       )</div>	今後の課題  <div style="text-align: right;">(       )</div>

重 点 目 標 以 外 の 特 記 事 項

園長	部長	課長	課長	係長

# 平成 20 年度 宿直日誌

園長	部長

平成 年 月 日 ( ) ~ 日 ( )	スタッフ																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;"><b>在籍</b></td> <td style="width: 80%; padding: 5px;"><b>在園</b> 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">(ショートステイ 名)</td> <td style="padding: 5px;"><b>外泊</b> 名 (外泊者氏名)</td> </tr> </table>	<b>在籍</b>	<b>在園</b> 名	(ショートステイ 名)	<b>外泊</b> 名 (外泊者氏名)	戸締り	定時巡回												
	<b>在籍</b>	<b>在園</b> 名																
	(ショートステイ 名)	<b>外泊</b> 名 (外泊者氏名)																
	冷暖房	1 回目																
湿度	2 回目																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">入浴状況</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">女性</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;">男性</td> <td style="width: 55%; padding: 5px;">(特記事項)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">洗い</td> <td style="padding: 5px;">( )</td> <td style="padding: 5px;">( )</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px; vertical-align: middle;">余暇・活動内容</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">脱衣</td> <td style="padding: 5px;">( )</td> <td style="padding: 5px;">( )</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">全体</td> <td style="padding: 5px;">( )</td> <td style="padding: 5px;">( )</td> </tr> </table>	入浴状況	女性	男性	(特記事項)	洗い	( )	( )	余暇・活動内容	脱衣	( )	( )	全体	( )	( )	楽しみ度・エピソード等 ( S R )			
入浴状況	女性	男性	(特記事項)															
洗い	( )	( )	余暇・活動内容															
脱衣	( )	( )																
全体	( )	( )																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">消灯</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">時</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">分</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">(睡眠の様子)</td> </tr> </table>					消灯	時	分		(睡眠の様子)									
消灯	時	分																
(睡眠の様子)																		
申送り事項																		
明日の予定 (行事・ショートステイの退、入所)																		

## VI. 健康・安全計画

### 1. 食生活

生活の基本であり、療育の原点でもある食事は、利用者にとって大きな楽しみなので、毎日のことであるからこそ、充実し美味しいと感じてもらいその中で、正しい食行動を身につけてもらいたい。そこで今年度は、「より暖かく」をテーマに、温かい食事の提供・出来るだけ手づくりの料理の提供・利用者が驚き会話が弾むようなメニューの提供等を行っていく。

また、高齢化が徐々に進む中、一人ひとりに対応したカロリー、メニュー、食形態への対応が必要になってきた。今後試行しながらベストな対応を見つけていく。

栄養会議は月に1回実施し、上記の内容や食事内容等、さまざまな問題点について検討、調整し、解決をしていく。

#### ① お楽しみメニュー

毎月1回以上行いその中で季節感や行事の表現・驚きの提供をする。

#### ② 食行動

舌の反射の抑制をし、よく咀嚼して食べることと、適度なペースで食べられるよう支援する。

#### ③ マナー

食堂の中で気持ちよく食事をし、片づけができるよう支援する。また外食先でも社会人として、恥ずかしくない程度のマナーが身に付くよう支援する。

### 2. 保健衛生・健康管理

コロメソッドの基本の「集団の活用」により、様々な作業、歩行トレーニングやダイナミックリズム、マラソン等を通してしっかりと日中体を使い、頭を使う生活を心がけている。その結果、適正体重の維持や、良い睡眠リズムの獲得が促され、健康的な生活が送れている。しかし集団で生活することで、感染症の蔓延の危険性もはらんでいる現状である。

今年度も感染症対策とし、日々の手洗い、うがいの励行、マスクの着用、換気の励行、湿度・温度の管理を徹底する。特に加湿器の設置、管理、保管を今一度見直す。また、支援員が正しい対処が行えるよう研修の開催を行う。

また開所から9年経ち、利用者の身体の変化がみられている。例えば、向精神薬の効果の変化や、初発のてんかん発作、てんかん発作の出方の変化、早期老化、といった現象である。これらの変化に早期に気づき、主治医、家族との連携の元に、対応にあたっていく。

#### ①保健

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| (ア)健康診断      | 年2回行う(6月・11月)        |
| (イ)歯科検診      | 週に1回(一人につき、月1回の受診)行う |
| (ウ)嘱託医師の受診   | 月に1回行う               |
| (エ)身体検査      | 月に1回行う               |
| (オ)検便・ギョウ虫検査 | 3年に1回行う(次回2010年)     |
| (カ)研修の開催     | 緊急時対応・服薬介助の仕方・感染症等   |
| (キ)会議の開催     |                      |

健康管理課(支援員・看護師・栄養士)が集まり月1回調整、問題解決を行い、連携を密にしていく。必要に応じて嘱託医師に報告、相談を行う。

## ②服薬介助の仕方

- (ア) ケースの中の記述と薬が同じ物であるか確認
- (イ) 薬の名前と本人の顔を、指さしをしながら声に出して確認
- (ウ) 薬を口に入れ、薬袋に残っていないか確認
- (エ) 水を飲んでもらい、口の中に残っていないか確認
  - \* 服薬介助時は、服薬介助以外はしない
  - \* 服薬介助をしている人には声をかけない。
  - \* 薬を食堂から持ち出し、服薬するときは環境の変化があるので要注意

## ③衛生

- (ア) 入浴
  - 原則毎日入浴。介助は最低限にし、自立を目指し支援する。
- (イ) 排泄
  - 排便記録は毎日記録、保健係が毎日チェックを行う。夜間は、誘導、オムツ対応と、一人ひとりに合わせて対応。ウォームレット便器を使用し、快適に排泄が行えるように配慮する。
- (ウ) 寝具管理
  - リネン交換は週に1回行う。布団の天日干をこまめに行う。
- (エ) 身だしなみ
  - 理容は、月に1回行う。ひげそり、髪をとかず、化粧をする等日常行為を、介助のもと自立を目指し行う。

## 3. 衣類・日用品

今年度も衣類は月々3,000円の徴収金を園での購入希望者に徴収し購入管理を行う。利用者の好み、年齢、機能を考慮し、個々にあう物の購入を行う。

またボタンが取れている、破れている等は早急に対処する。洋服の着こなしに留意し、女性は女性らしく、男性は男性らしく、いつでもすっきりした姿でいられるようにする。(ジャージは運動時のみに着用する。)

日用品の購入については、いつでも必要な物が必要な場所にあるようにし、生活がしやすいようにする。また消耗品がほとんどなだけに、利用者、職員共に無駄遣いをしないよう心がけ、必要な物を必要なだけ使いコスト削減を心がけ、地球に優しく出来るようにする。

## 4. ヒヤリハット・事故報告

昨年度の前半は、ヒヤリハットよりも事故の報告書が多い状況であった。原因はヒヤリハット報告書の記入欄が多い為、記入するまでに時間がかかってしまい、結果として情報の周知が遅れ事故へと繋がってしまうという悪い流れであったように感じていた。

そこでヒヤリハット報告書について、周知のスピードアップを目的に書式改訂を行った。改訂後は、ヒヤリハット報告は増え事故報告は減っていった。

その結果より、今年度もヒヤリハット報告の周知を素早く行い、事故の防止につなげていくことを大きなテーマとして取り組んでいきたい。よってヒヤリハット報告については、どんどん上げてくるように働きかけ、その結果として昨年度多くなってしまった事故報告の減少につなげていきたい。

# ヒヤリ・ハット報告書

係長印

作成年月日	平成 年 月 日 ( )	報告者氏名	印
-------	--------------	-------	---

件名				
発生年月日	平成 年 月 日 ( )	場所		スタッフ配置
何をしていた時か				
どのようにヒヤリとしたか				
予想できる事故				
対策				
羽田・田淵・奈穂子・幸司・青木・淳・鈴木・篠原・白方・田村・池辺・数真・小川・進藤・関・土屋・末次・栗原・出口・田崎・富田・西村・天野・坂田・島・奥山・出店・佐藤栄養士・志村NS・小泉NS				

## 5. 環境整備・事故防止

昨年度の事故報告書で最も多かったものが服薬ミスであり、次が転倒などによる怪我であった。怪我の原因として全てではないが、環境整備の不備による物もあった。普段より災害時に備え環境を整えておくことは非常に重要なことである。

### ①防災訓練

防災訓練として、通常訓練2回、夜間想定1回、総合訓練（消防署立会いの避難訓練・救命救急訓練）1回の実施を予定している。また適宜園内の防災設備の点検を行う。

### ②暮らしやすい、安全な生活環境

今年度は総務部に新しく、設備管理課を設け、よりスピーディーに修繕箇所の発見、修理を行っていくことで安全で、暮らしやすい生活環境の提供を行い、事故防止へと繋げていく。

また物品の管理を徹底し、物の配置、収納に安全を期していく。花や利用者の作品、装飾品などを飾ることにより、季節感や清涼感を味わえると同時に生活に潤いが出るよう環境整備を行っていく。

### ③服薬ミス

昨年度多く見られた、服薬ミスに関しては、服薬マニュアルの周知、徹底を行っていくと共に、OJTを続けていくことで、ミスをなくしていきたい。

## Ⅶ. 利用者・家族への相談援助

学園も10年目を迎え、ご家族の高齢化もあり、利用者さんの帰省に関しては、年々減少してきている。その為、数少ない帰省や行事の際の交流は多くのご家族が大変楽しみにされている。その様な貴重な機会に落ち着いて楽しく、過ごせるように、以下の援助を行っていく。

- ①連絡帳や個別支援計画説明時の個別面談において、対応の仕方やコミュニケーションの取り方の相談、援助を行っていく。
- ②MT講座、コロロETセンター講演会への受講、「発達プログラム」誌の購読をお勧めする。
- ③ご家族の希望により、「家族交流支援サービス」として、望む状態で過ごす事ができるよう、個別の支援プログラムの立案、実施を有料にて行う。